



# 自分の言語のことを考える

鍛治広真 講師

## ■ 自己紹介

専門は言語学で、エウエン語というシベリアの少数民族の言語の研究をしています。寒いときには零下 50℃を下回る土地で自分とは異なる文化を持ち暮らす人々が、ある点では日本語と共通する特徴(例えば基本語順、迷惑受身の存在など)を持つ言語を話しているということが興味深く、関心を持つようになりました。特に語形変化に関心を持って形態論と音韻論を中心に研究してきました。フィールド調査で話者に会うと人間の言語の多様性を強く実感します。現在は言語の対照研究に関心があります。

授業では、そもそもどうやって音声を発しているのかということから、日本語や英語の様々な現象について学んでいきます。それらの多くは意識しないまま普段は言語を使っていますが、無意識のうちに扱っていることにも意識に向けられるようになってほしいと思います。

ゼミでも言語をテーマにして、ゼミ生が各自の興味関心に基づいて研究を進めています。言語について理解を深めるのはもちろんですが、求める資料を探す力、文章を正しく読む力、わかりやすい文章を書く力、計画を立てて実行する力を身につけることを目指しています。これらは卒論を書くために必要であることはもちろん、卒業後の社会でも自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための助けになるでしょう。